

## 奥会津只見戊辰150周年記念事業実行委員会が只見の戊辰戦争を発信 戊辰150周年を記念した特別記念事業を開催！

戊辰戦争から150年を迎えた今年、奥会津只見戊辰150周年記念事業実行委員会は様々な特別記念事業を企画し、戊辰150周年を盛り上げています

### 第1弾「元NHKアナウンサー国井雅比古さん特別講演会」

9月1日、元NHKアナウンサーの国井雅比古さんを講師に迎えた特別記念講演会が季の郷湯ら里で開かれ、町内外から約220名が聴講しました。「小さな旅－出会いと発見そして只見町」と題した講演では、国井さんがNHKアナウンサー時代の撮影で、只見町を訪れた際の町民とのエピソードを語り、「只見の人々は人情が深い」と紹介しました。戊辰戦争についても長岡藩家老・河井継之助や八十里越を中心に触れ、「越後長岡藩からの多数の避難者を受け入れ、長岡藩士の子どもを育てた歴史がある只見は、今も昔も人情に溢れている」と話し、最後に「先人たちが残した文化を大切に伝えていってほしい」と呼びかけました。



▲只見の資源・歴史の重要性を語る国井さん

### 第2弾「只見町の魅力を知る歴史観光バスツアー」



▲河井継之助記念館ガイドの説明に耳を傾ける参加者

9月1日、JR会津若松駅を発着点に只見町の歴史や観光を堪能する「継之助ゆかりの地を訪ねて－只見町歴史と観光バスツアー」が運行され、会津若松市などから42名が参加しました。河井継之助の功績などを紹介する河井継之助記念館や全国でも有数の規模を誇る電源開発田子倉発電所を見学し、さらにブナと川のミュージアムも訪れ只見ユネスコエコパークについて学びました。また、元NHKアナウンサー国井雅比古さんの講演会にも参加し、只見の文化や歴史への理解を深めていました。

### 第3弾「戊辰の史跡を巡るウォークイベント」

9月24日、只見町で最期を迎えた長岡藩家老・河井継之助ゆかりの地を歩く「継之助ウォーク」が開催され、只見町から20名と新潟県長岡市から31名が参加しました。町内の史跡を地元ガイドと一緒に巡るこのウォーキングは、河井継之助記念館をスタートし、叶津番所や野尻代官・丹羽族の自刃の地など10箇所を見学しました。ウォーキング終了後は只見振興センターで飯塚恒夫実行委員長の歴史講話などが行われ、参加者は継之助の生涯や只見の戊辰戦争について理解を深めていました。



▲史跡巡りの一つ「河井継之助の墓前」でガイドから説明を受ける参加者の皆さん

## 各地の名物が集まり賑わいを見せる！

# 「第13回只見駅前通りウキウキわいわいフェスタ」開催

9月2日、只見ウキウキわいわいフェスタが只見駅前通りで開かれ、多くの来場者で賑わいました。会場では子どもや大人のみこしが練り歩き、新潟県三条市の三條太鼓、長野県坂城町の千曲川坂城城陣太鼓の力強い演奏が披露され、さらに豊年踊りや只見高校茶華道部の野だてなども行われ、会場は活気に溢れていました。また、三条市の「笹団子」や新潟県栃尾の「油揚げ」、いわき市の「ウニの貝焼き」などの出店が並び、来場者は各地の食を堪能しました。



▲商店街が活気づいた子どもみこし



▲鍛冶職人のまちを表現した三條太鼓で魅了した三小相承会の皆さん



▲アコワン・グランプリ2016で優勝した大竹涼華さんのライブ。オリジナル曲など全4曲を披露



▲交通安全を呼びかけた只見小学校交通安全パレード (9月19日開催)

## 交通安全を呼びかける 小学校交通安全鼓笛パレード

秋の全国交通安全運動期間(9月21～30日)にあわせ、各小学校で交通安全鼓笛パレードが開催されました。朝日小と明和小は雨天により体育館での発表となりましたが、児童は素晴らしい演奏を披露しました。

只見小のパレードでは、児童や交通安全母の会の皆さんが、沿道に集まった地域住民に交通事故防止を呼びかけました。



▲雨天により朝日小体育館で行われた朝日小鼓笛演奏 (9月21日開催)



▲雨天により明和小体育館で行われた明和小鼓笛演奏 (9月25日開催)

ダンスの魅力を伝え、只見線などの災害を伝える

## 総合イベント「NO SNOW GABEZ」を開催

9月22日、5年連続で雪まつりに出演しているパフォーマーGABEZ（ガベジ）の総合イベント「NO SNOW GABEZ」が季の郷湯ら里で開かれ、町内外から約140名が参加しました。これは、只見を担う子どもたちの健やかな成長を目指し実行委員会が企画したもので、GABEZのお二人が3部構成で会場を魅了しました。第1部は、台詞のない芝居を組み合わせたダンス&サイレントコメディショー。第2部は参加者と一緒にダンスの基本ステップなどを学ぶダンスワークショップ。第3部は児童が豪雨災害にあった只見線などを学習紙芝居で伝え、GABEZが六角精児バンドの「只見線のうた」に合わせたパフォーマンスを披露しました。GABEZのお二人は「只見町とのつながりに感謝し、パフォーマンスで気持ちを伝えたかった。何年たっても只見線の話の後世に伝えていきましょう」と話し、参加者からは大きな拍手が贈られていました。



▲ワークショップでGABEZのMASAさん(左)hitoshiさん(右)と一緒にダンスを披露した参加者の皆さん



▲多くの方が参加した「NO SNOW GABEZ」

## 稲刈り農業体験イベント・18歳の酒Project同時開催 「KARIYASU'18 100人手刈り」開催



▲「18歳の酒Project」に参加した高校生

9月22日、5月に季の郷湯ら里前の水田に植えた稲を手刈りする農業体験イベント「KARIYASU'18 100人手刈り」が行われ、町内外から約70名が参加しました。これは、(株)ライズサプールと(有)さんべ農園が主催するイベントで、今年で開催4回目を迎えました。前出のGABEZも体験に参加し、手刈りやはず掛けなどを行い、参加者は作業を楽しんでいました。

また、高校生が田植えから稲刈り、酒造りまでを自分で体験し、完成した酒を成人になる年に受け取る「18歳の酒Project」も同時開催され、5名が参加しました。



▲東京などの参加者と地元の方々が交流しながら作業を楽しんだ「KARIYASU'18 100人手刈り」

## 家族と一緒に自然に親しむ 「ファミリー緑の教室」開催！

9月1日、緑の募金による森林整備などの推進事業の一環として「ファミリー緑の教室」が青少年旅行村いこいの森で開かれ、町内外から18名の家族が参加しました。これは、南会津地方緑化推進委員会が主催する教室で、家族と一緒に自然に親しみながら「緑」の恩恵に感謝する心や愛護する心を育むことを目的に、南会津郡内4町村持ち回りで毎年開催しており、今年は只見町で開催されました。

雨天の中開催された教室では、NPO法人森林野会の方々と一緒に木工クラフトやいこいの森周辺を散策する自然観察会を楽しみました。



▲いこいの森周辺を散策する参加者の皆さん



▲菅家町長から町旗を受ける馬場大輔監督(上)と馬場達也監督(下)

## 市町村対抗県軟式野球とソフトボール 只見町代表チームの激励会

9月4日、第12回市町村対抗県軟式野球大会と第5回市町村対抗県ソフトボール大会に出場する只見町チームの激励会が役場で行われました。鈴木好行町体育協会長が「町の代表として頑張ってもらいたい」とあいさつし、軟式野球の馬場大輔監督とソフトボールの馬場達也監督が出場選手を紹介しました。菅家町長が両監督に町旗を手渡し、軟式野球の小林拓矢主将が「昨年のベスト4というプレッシャーもあるが、まずは初戦突破を目指し挑みたい」、ソフトボールの佐藤佑介主将が「4回目の出場で初勝利に向け頑張りたい」と決意表明しました。

大会の様子は来月号でご紹介いたします。

## 日本の原風景や人々の営みを描く 渡部等さんの「油絵展」

町内の洋画家・渡部等さん(小川)の油絵展が9月13日～10月11日まで季の郷湯ら里ロビーで行われました。油絵展は、只見町の雪の風景や稲を干すための「はざ木」をテーマにしており、浅草岳や蒲生岳、花火などを描いた作品35点が展示されました。渡部さんの作品は、キャンバスの下地に砂などを塗り固め、その上に油彩で描いており、砂の凹凸で雪を表現しています。雪を様々な色で表現し、作品の中には雪螢を描いています。渡部さんは「只見の雪は独特の魅力があります。作品には厳しい自然環境の中にも家が灯す人々の営みや温かみを表現しています」と話していました。



▲湯ら里で油絵展を開いた渡部等さん